

新潟探求新聞

発行元

新潟青陵大学
現代社会とメディア
編集：S

東京に流れる新潟

昨年度の新潟県での累計就職者数は11153人。その内県外就職者数は3776人である。つまりは3割の新潟県出身の若者が県外に流れているのである。優秀な新潟県出身の若者が

新潟県外に出ていってしまっている。新潟県の人口は減る。新潟県から若者の流出となる原因としては、「新潟には自分のやりたい仕事がない」「新潟では最新の技術・情報・知識・ノウハウ

53円で、37円ほどしか差はない。「これでいいの」が新潟県新潟市」によれば、新潟県にはIT企業といったベンチャー志向の強い企業や、クリエイティブ職はなく、そのような職業に就きたい人間からすれば「やりたい仕事」は無い。しかし、公務員志望や事務系職種志望の人間から見れば、新潟では公務員になれ、事務系職種にもなれる。だが、新潟市内に就職することに抵抗感のある若者が多いそうである。理由としては、「市内に就職する人は能力のない人間だと言われる」「出身校での評価や、農家は長男が継ぐものだ」と思うなどの古い体質

がまだに残っている。「育ってきた環境から何も変えがたく、自分の実力と試すことが難しくなる」というのだ。以上の理由から上昇志向のある新潟県出身の若者が新潟県外に流れてしまっている。魅力を感じられない「職の環境」がないのだ。また、就職活動という観点だけではなく、上越新幹線や各種高速道路網により、東京圏へのアクセスが抜群にしやすい結果、東京に親近感がわいてしまっている。新潟県では「いかに新潟県新潟市」で言っていた。新潟県では「いかに新潟プロジェクト」や「開志専門職大学」に

がすでに残っている。「育ってきた環境から何も変えがたく、自分の実力と試すことが難しくなる」というのだ。以上の理由から上昇志向のある新潟県出身の若者が新潟県外に流れてしまっている。魅力を感じられない「職の環境」がないのだ。また、就職活動という観点だけではなく、上越新幹線や各種高速道路網により、東京圏へのアクセスが抜群にしやすい結果、東京に親近感がわいてしまっている。新潟県では「いかに新潟県新潟市」で言っていた。新潟県では「いかに新潟プロジェクト」や「開志専門職大学」に

若者の流出 止まらず



新潟県で若者流出を止める、あるいは若者が新潟に戻って来るための活動が新潟県で行われている。その一つに「いかに新潟プロジェクト」というものが、新潟で行われている。この取り組みは、新潟県と

新潟日報社が共同連携し、令和4年度に開始された若者の流出を止めるために学生向けの記事を作り、若者向けのイベントを開催していく活動だ。名前の由来は「鮭は外洋を回遊しながらたくましく成長し、生まれ

た川に戻ってきます。」というところから。いかに新潟プロジェクトでは、学生と連携をしているプロジェクトであり、学生スタッフが新潟県各地取材していき新潟のPRになる記事を作っている。具体的には市内企業の情報や新潟の暮らしの

魅力を発信している。新潟県の多数の企業や自治団体と連携をしているプロジェクトであり、学生スタッフが新潟県各地取材していき新潟のPRになる記事を作っている。具体的には市内企業の情報や新潟の暮らしの

魅力を発信している。新潟県の多数の企業や自治団体と連携をしているプロジェクトであり、学生スタッフが新潟県各地取材していき新潟のPRになる記事を作っている。具体的には市内企業の情報や新潟の暮らしの

魅力を発信している。新潟県の多数の企業や自治団体と連携をしているプロジェクトであり、学生スタッフが新潟県各地取材していき新潟のPRになる記事を作っている。具体的には市内企業の情報や新潟の暮らしの

魅力を発信している。新潟県の多数の企業や自治団体と連携をしているプロジェクトであり、学生スタッフが新潟県各地取材していき新潟のPRになる記事を作っている。具体的には市内企業の情報や新潟の暮らしの

いかに鮭プロジェクト 若者を新潟に呼び戻す活動



新潟青陵大学の現状

福祉も県外か

メ・マンガ学部が開校」など新潟を活性化される動きもある。参考資料

新潟労働局 | 厚生労働省
「これでいいの」が新潟県新潟市」書籍

新潟県の人口移動 | 令和2年新潟県人口移動調査結果報告
7. 新潟市の人口減少問題

題について
あなたの賃金を比較チェック

生が県外に就職しているが、就職先となる県外も見てみると、神奈川県や埼玉などの関東県に流れるケースが多く、特に東京都が顕著である。

社説・人口流出 私たちこそPR！

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま

新潟県での人口流出が止まらないのは知っての通りだが、では、どうするべきだったのだろうか。クリエイティブな職種が新潟県では少ないように感じるかもしれないが、それとマンガ・アニメの町とは言えないと思われる。開志専門職大学に、アニメ・マンガ学部が開校しているの、このような創作系の職種に手を出してもらおうとしているのは間違いない。しかしながら、筆者が考えるに重要なことは県外企業にま